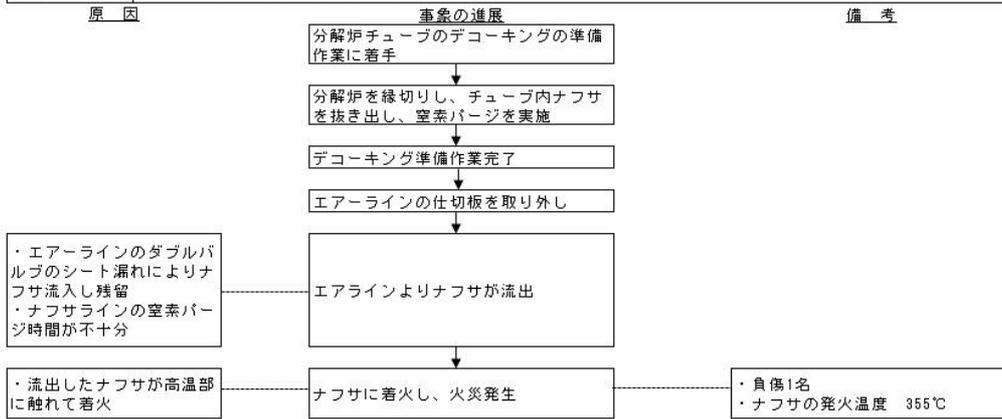




分解炉デコーキング準備作業中の火災

事象進展図

00195	分解炉デコーキング準備作業中の火災
発災年月日	1979年2月12日
装置	分解炉（スチームクラッキング装置）
運転状況	デコーキング準備作業中
特徴	バルブのシート漏れに起因する漏洩、火災



再発防止対策
①より信頼性の高いバルブに交換 ②定期的にリークテストを実施 ③作業マニュアルを見直し（空素バージを3回実施）

安全専門家のコメント
プロセス流体と空気配管のコネクト部の取扱について、バルブリークの可能性があるため、仕切板を開放する前にドレンバルブを開け、漏れ込みが無いことを確認する必要がある。

引き金事象発生の原因
・ダブルバルブのシート漏れによるナフサの流入 ・空素バージ不十分

事故の引き金事象
・エアラインの仕切り板を開放しナフサ流出

事故に関係した直接・間接要因
《保守・点検要因》保守・保全不良 《人的要因》作業確認不足・ミス



分解炉デコーキング準備作業中の火災

添付資料・参考文献・キーワード

参考資料（文献など）

・川崎市消防局、分解炉デコーキング準備作業中の事故例、火災、Vol.29、No.3、P.20-22、1979年

▶ 添付資料

 [フローシート](#) (52 KB)

▶ キーワード(> 同義語)

🔑 手動弁 > マニュアルバルブ

🔑 分解炉

🔑 フランジ継手

▶ 関連情報